

上皮小体機能亢進症がみられた猫の上皮小体癌の1例

福岡寛之¹⁾ 佐々木 淳^{1)†} 宍戸 智²⁾ 岡田幸助¹⁾ 御領政信¹⁾

1) 岩手大学農学部 (〒020-8550 盛岡市上田3-18-8)

2) 岩手県 開業 (緑が丘動物病院: 〒020-0113 盛岡市上田堤1-5-13)

(2009年6月8日受付・2009年8月20日受理)

要 約

4年前より右側頸部皮下に腫瘤が触知された17歳の去勢雄、雑種猫が上皮小体機能亢進症と診断された。外科手術時、偶発的に左側頸部にも腫瘤が認められ、右側頸部腫瘤とともに摘出された。肉眼的に左側腫瘤は充実性白色を呈しており、右側腫瘤は無色透明の漿液を容れた嚢胞状を示し、嚢胞の中心部に乳白色を呈する充実性腫瘤が認められた。病理組織学的に左側腫瘤は豊富な好酸性細胞質を持つ腫瘍細胞の充実性増殖を主体としており、周囲の甲状腺や被膜への浸潤像が認められたことから上皮小体癌と診断された。右側嚢胞状腫瘤は周囲組織への浸潤像が認められなかったことから上皮小体腺腫と診断された。——キーワード：猫，上皮小体機能亢進症，上皮小体癌。

----- 日獣会誌 63, 56～59 (2010)

† 連絡責任者：佐々木 淳 (岩手大学農学部獣医病理学研究室)

〒020-8550 盛岡市上田3-18-8 ☎019-621-6166 FAX 019-621-6274 E-mail: sasajun@iwate-u.ac.jp